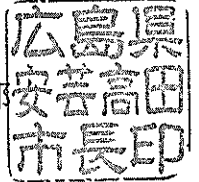




平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様  
(三次河川国道事務所扱)

安芸高田市市長 児玉更太郎



道路整備について中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

このことについて、先に依頼がありました中期的な計画作成にあたっての意見については、別紙のとおり提出いたします。

## 今後の道路政策や道路整備・管理について

<p>重点化を進める上で特に優先度の高い政策</p>	<p>合併支援道路の推進を図る。</p> <p>合併前は合併促進道路で推進をしていたが、合併後は支援道路として事業を推進しているが合併後においても進捗度合いが停滞しないよう強力に事業推進を図り、合併自治体のまちづくりに支障をきたさないよう、更に重点化の基で事業を進めることは必要である。</p> <p>ネットワーク整備を図る道路。</p> <p>広島市や東広島市に近い田園都市を目指している市としては通勤時間等走行短縮を図れる広域幹線道路の整備や生活道路としての市内幹線道路の整備により道路ネットワーク化を図ることがまちづくりに必要で道路整備は急務の課題である。</p> <p>また市内全域を移動する道路の整備は防災・医療・福祉等の市内の公共サービス確保を図る上でも必要である。市では救急車輸送業務のため分駐署を平成18年度に整備したところであるが、救急・消防等緊急車両に支障のある狭い道路や大きく迂回するなど道路などがあり道路整備が待たれている状況である。</p> <p>高速道路のICと、地域の中心部との高速ネットワークを形成する安心して走行できる国道・県道等の整備を図ることが必要である。平成18年度豪雨により国道54号が約8時間不通になった事態は、幹線ネットワーク道路の必要性を痛感したところである。</p>
<p>効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと</p>	<p>地方の道路の切捨てにならないように配慮すること</p> <p>道路が唯一の交通手段で自動車がないと日常生活に支障をきたす地方が殆んどの中、道路整備要望は強いものがあり、効率化を進める上で地方の道路整備にしわ寄せが来ないようにすること。</p> <p>整備路線の絞込み等</p> <p>ネットワーク化、渋滞対策、交通安全対策、防災・減災対策など整備路線の絞込みと最適工法の検討をする。</p>

	<p>整備内容の検討</p> <p>路線の一律幅員を検討し山間部の歩道幅員の検討や、地理的条件で1.5車線にすること、また坂道での追い越し車線を設けること、高齢者の事故防止につながる改良など地域の実情に合った整備をする。</p> <p>残土、盛土など広域的連携による効率的な処分の検討。</p>
<p>その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること</p>	<p>維持管理経費が少なくなる取り組み</p> <p>維持管理経費の掛かり難い、工法の採用・工事材料の開発促進・工事材料のリサイクルできる資材の活用・開発など、研究開発に取り組むこと。</p> <p>発注コストを下げる</p> <p>公表単価、公表工事箇所、発注時期の公表など業者が工事現場を事前に知る機会が増えている。更に推し進めて業者からこの工事現場の施工費を提案してもらう制度に発展させ発注者側が最適業者を決めていく方法で建設コストの削減を図る。</p> <p>道路改良等促進期成同盟会等について</p> <p>市では6箇所の同盟会等に所属している。交通手段は車が殆どどの市内では、まだまだ路線改良要望が多いので道路特定財源による地方道整備は必要である。</p> <p>揮発油税の用途の一環で新たな財源への転換策として</p> <p>代替エネルギー開発支援費、地球温暖化防止対策費、また代替燃料の開発支援財源として使う。その代替燃料は新たな道路特定財源として道路改良維持費に充てる。</p> <p>揮発油税の還元策として</p> <p>たとえばマイロードなど道路維持の団体に揮発油税の減免券を発行し道路は揮発油税で改良維持されていることを国民に知らせる一助と、維持管理団体への対価的なものにする。維持管理を請合うことを地域のものが取り組めば、それだけ道路維持が安くなったりする等など税の還元も検討したらどうか。</p>

	<p>高速道路の通行料を部分的に引き下げる区間を設ける。 たとえば中国縦貫自動車道の通行料の部分的引き下げなど交通誘導により利用促進を図る。そのことは山陽自動車道の交通量緩和策としても期待され事故発生率等の軽減にも役立つことになる。</p>
--	--